

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-282258

(43) Date of publication of application : 12.10.2001

(51) Int.Cl.

G10K 15/02
G06F 12/14
G11B 20/10

(21)Application number : 2000-069468

(71)Applicant : VICTOR CO OF JAPAN LTD

(22) Date of filing : 13.03.2000

(72)Inventor : MATSUMOTO MITSUO
MORI TOMOHIRO
SATO YASUO

(30)Priority

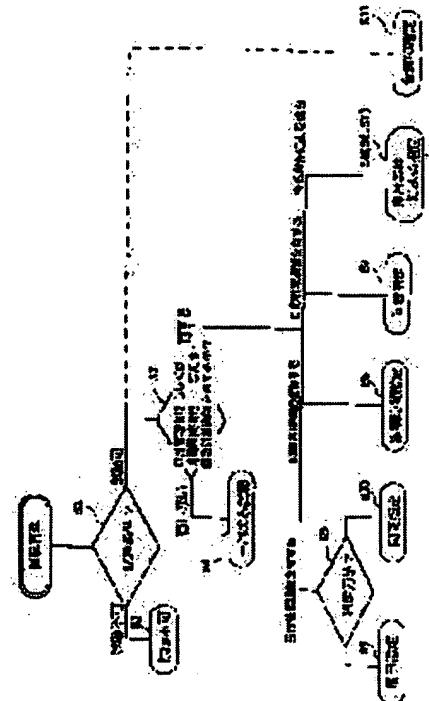
Priority number : 2000016208 Priority date : 25.01.2000 Priority country : JP

(54) AUDITION REPRODUCTION CONTROL METHOD FOR CONTENT DISTRIBUTION SYSTEM AND
PLAYER AS WELL AS PROGRAM MEMORY MEDIUM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To deal with audition permission conditions on a copyright holder side with a content distribution system.

SOLUTION: The system is so constituted that a player 10 is informed of audition reproduction control information indicating whether the audition reproduction of the contents is permitted or prohibited from an edition system/server 1 of a content holder or the copyright holder and the audition reproduction is permitted or prohibited. In case of the permission, the player is informed of an audition permission time, number of audition permission times, an audition possible date and audition possible period and the audition reproduction is permitted within this range. When the player is informed of the combinations of audition reproduction conditions of ≥ 2 of any among the audition permission time, the number of audition permission times, the audition possible date and the audition possible period and the priority, the audition reproduction of the audition reproduction conditions of low priority after the end of the audition reproduction under the audition



reproduction conditions of the high priority is prohibited.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-282258
(P2001-282258A)

(43)公開日 平成13年10月12日 (2001.10.12)

(51)Int.Cl.
G 10 K 15/02
G 06 F 12/14
G 11 B 20/10

識別記号
3 2 0

F I
G 10 K 15/02
G 06 F 12/14
G 11 B 20/10

コード (参考)
5 B 0 1 7
3 2 0 F 5 D 0 4 4
H

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2000-69468 (P2000-69468)
(22)出願日 平成12年3月13日 (2000.3.13)
(31)優先権主張番号 特願2000-16208 (P2000-16208)
(32)優先日 平成12年1月25日 (2000.1.25)
(33)優先権主張国 日本 (JP)

(71)出願人 000004329
日本ピクター株式会社
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地
(72)発明者 根本 光輝
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ピクター株式会社内
(72)発明者 毛利 智博
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 日本ピクター株式会社内
(74)代理人 100093067
弁理士 二瓶 正教

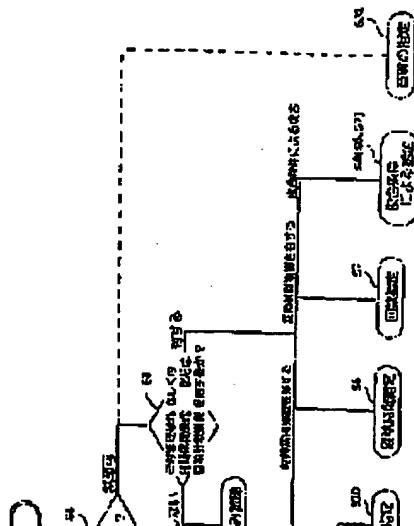
最終頁に続く

(54)【発明の名称】コンテンツ配布システムの試聴再生制御方法及びプレーヤ並びにプログラム記憶媒体

(57)【要約】

【課題】コンテンツ配布システムにおいて著作権者側の試聴許可条件に対応可能とする。

【解決手段】コンテンツホルダ又は著作権者の編集システム/サーバ10からプレーヤ10に対して、コンテンツの試聴再生を許可するか又は禁止するかを示す試聴再生制御情報を通知して試聴再生を許可又は禁止するようになり、許可する場合には試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間を通知してこの範囲で試聴再生を許可する。また、試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間のいずれか2以上の試聴再生条件の組み合わせとその優先順位を通知した場合に、優先順位の高い試聴再生条件の試聴再生が終了した後には優先順位の低い試聴再生条件の試聴再生を禁止する。



(2)

特開2001-282258

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンテンツを転送元端末からユーザ側のプレーヤに転送するコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法であって、

前記転送元端末から前記プレーヤに対してコンテンツを転送するとともに、そのコンテンツの試聴再生を許可するか又は禁止するかを示す試聴再生制御情報を通知し、前記試聴再生制御情報に基づいて前記プレーヤによるコンテンツの全部又は一部の試聴再生を許可又は禁止するよう記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項2】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して、試聴再生を許可する試聴再生制御情報とともに試聴許可時間を通知し、前記試聴許可時間の範囲で試聴再生を許可することを特徴とする請求項1記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項3】 前記プレーヤが試聴再生時間の計時機能を有する場合に前記試聴許可時間の範囲で試聴再生を許可し、前記計時機能を有しない場合に1回の試聴再生を許可することを特徴とする請求項2記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項4】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して、試聴再生を許可する試聴再生制御情報とともに試聴許可回数を通知し、前記試聴許可回数の範囲で試聴再生を許可することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項5】 前記プレーヤが試聴再生回数の計数機能を有する場合に前記試聴許可回数の範囲で試聴再生を許可し、前記計数機能を有しない場合に1回の試聴再生を許可することを特徴とする請求項4記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項6】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して、試聴再生を許可する試聴再生制御情報とともに試聴可能期日を通知し、前記試聴可能期日の範囲で試聴再生を許可することを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項7】 前記プレーヤがカレンダ機能を有する場合に前記試聴可能期日の範囲で試聴再生を許可し、前記カレンダ機能を有しない場合に1回の試聴再生を許可することを特徴とする請求項6記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項8】 前記転送元端末が前記プレーヤに対し

10

20

30

40

台に前記試聴可能期間の範囲で試聴再生を許可し、前記カレンダ機能を有しない場合に1回の試聴再生を許可することを特徴とする請求項8記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項10】 試聴再生を許可する場合に音質を劣化させて再生することを特徴とする請求項1ないし9のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項11】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して前記試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間のいずれか2以上を組み合わせて通知した場合に、その内、最短時間、又は最長時間、あるいは別に指定した範囲で試聴再生を許可することを特徴とする請求項2ないし10のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項12】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して、試聴再生を許可する試聴再生制御情報とともに前記試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間のいずれか2以上の試聴再生条件の組み合わせとその優先順位を通知した場合に、優先順位の高い試聴再生条件の試聴再生が終了した後には優先順位の低い試聴再生条件の試聴再生を禁止することを特徴とする請求項2ないし10のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項13】 前記転送元端末が前記プレーヤに対して、試聴再生を許可する試聴再生制御情報とともに、試聴再生を許可する国識別コードを通知し、前記プレーヤにあらかじめ設定された国識別コードと前記通知された国識別コードが一致した場合に試聴再生を許可することを特徴とする請求項1ないし12のいずれか1つに記載のコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法。

【請求項14】 請求項1ないし13のいずれか1つに記載の試聴再生の許可及び禁止の処理を行うプレーヤ。

【請求項15】 請求項1ないし13のいずれか1つに記載の試聴再生の許可及び禁止するプログラムが記憶されたプログラム記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、音楽などのコンテンツデータをホストからインターネットや公衆電話回線などのネットワークを介してユーザ側のプレーヤに対して転送（ダウンロード）するコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法及びプレーヤ並びにプログラム記憶媒体に関する。

「ハハハハ」

(3)

特開2001-282258

3

インターネットなどのネットワークを介してユーザ側のプレーヤ内のハードディスクや半導体メモリなどの記録媒体に転送してこれを再生するネットワーク配布システムが若目されている。

【0003】ネットワーク配布システムの一例としては、コンテンツデータをインターネット・サーバ(ホスト)側からインターネット及びインターネットクライアント(ユーザパソコン)を介してプレーヤに転送するインターネット経由方式が考えられる。他の例としては、コンテンツデータを衛星通信回線や公衆電話回線を介して販売店設置端末に転送し、更に販売店設置端末からプレーヤに転送する販売店設置端末経由方式が考えられる。後者のシステムではまた、販売店設置端末を経由しないで公衆電話回線を介して直接、プレーヤに転送する公衆電話回線経由方式が考えられる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、このようなネットワーク配布システムでは、ユーザがコンテンツを購入する(対価を支払う)前に試聴したいという要求がある。しかしながら、著作権者がこのような試聴要求に対して、全く許可しない(禁止する)又は許可してもよいという要求があり、また、許可しても様々な許可条件を付けたい要求があるので、これらの種々の要求を満たすようにシステムを構成しなければならないという問題点がある。ここで、「試聴」とは、コンテンツが音楽のみならず、映画など他のソフトにも適用することができる、「コンテンツの一部又は全部を一定の制限の基に再生又はコピーする」ものとする。

【0005】本発明は上記の問題点に鑑み、著作権者側の試聴許可条件に対応することができるネットワーク配布システムの試聴再生制御方法及びプレーヤ並びにプログラム記憶媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために、転送元端末からプレーヤに対してコンテンツの試聴再生を許可するか又は禁止するかを示す試聴再生制御情報を通知して、試聴再生を許可又は禁止するようにしたものである。また、許可する場合には試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間を通知してこの範囲で試聴再生を許可するようにしたものである。さらに試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間のいずれか2以上の試聴再生条件の組み合わせとその優先順位を通知した場合には、優先順位の高い試聴再生条件の試聴再生が終了した後には優先順位の低い試聴再生条件の試聴再生が開始される。

ともに、そのコンテンツの試聴再生を許可するか又は禁止するかを示す試聴再生制御情報を通知し、前記試聴再生制御情報に基づいて前記プレーヤによるコンテンツの全部又は一部の試聴再生を許可又は禁止するようにしたコンテンツ配布システムの試聴再生制御方法及びかかる試聴再生の許可及び禁止の処理を行うプレーヤ並びにそのためのプログラムが記憶されたプログラム記憶媒体が提供される。

【0008】

【発明の実施の形態】<第1の実施形態>以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。図1は本発明に係るネットワーク配布システムの一実施形態を示す構成図、図2は図1のプレーヤの構成を詳しく示すブロック図、図3は図1の編集システムの構成を詳しく示すブロック図、図4はヘッダの構成を示す説明図、図5は図4の試聴条件データを詳しく示す説明図、図6は図5の試聴条件データの一例を示す説明図、図7～図9は試聴再生制御処理を示すフローチャートである。

【0009】図1は一例として、音楽コンテンツをユーザ側のプレーヤ10に配信するシステムを示している。音楽コンテンツはコンテンツホルダ又は著作権者の編集システム/サーバ1から情報媒体13にダウンロードされる。この情報媒体13はプレーヤ1の形態に応じて、内蔵されたものや着脱自在なものである。ダウンロード形態としては、(1)JRの駅に設置される端末(以下、キオスク端末)2を介する方法、(2)コンピュータネットワーク3、携帯電話機/PHS4を介する方法、(3)コンピュータネットワーク3、パーソナルコンピュータ(PC)5を介する方法、(4)デジタル衛星放送(衛星6及び衛星放送受信機7)を介する方法などが考えられる。ダウンロードされる音楽コンテンツは圧縮及び暗号化されている。また、ユーザ側から試聴要求があった場合には、そのコンテンツとともに図4～図6に示すようなヘッダが付与されてダウンロードされる。

【0010】図2を参照してプレーヤ10について説明する。この例では、前述した情報媒体13は内蔵のメモリ13であり、メモリ13は編集システム/サーバ1からダウンロードされた音楽コンテンツ及び後述するヘッダと国識別コードなどを記憶する領域を有する。データ転送インターフェース(1/F)19と入出力端子20は、図1に示すようにキオスク端末2、携帯電話機/PHS4、PC5、衛星放送受信機7に接続されてダウンロードが行われたり、プレーヤ10間で接続されてコピ

... リモコン等の外部機器との接続

(4)

特開2001-282258

5

復号部15に送る。暗号化/復号部15はこの音楽コンテンツを復号し、次いで圧縮/伸長部16はこの復号データをPCM信号に伸長する。次いで再生部17はこのPCM信号をアナログ信号に変換し、このアナログ信号をオーディオ出力端子18を介して不図示のイヤホンなどに送る。

【0012】表示部11はLCDディスプレイなどであって、制御部12の制御に基づいて音楽コンテンツのタイトルや時間などを表示する。プレーヤ10はまた、日付管理部21と、残り試聴回数計数部22と試聴再生時間の計時機能を有する残り試聴時間計算部23を有する。なお、図2は機能的に示しており、制御部12と、日付管理部21と、残り試聴回数計数部22と残り試聴時間計算部23はCPU及びそのプログラムなどにより構成される。また、プレーヤ10は種々の形態があって、これらの機能を全て有するとは限らない。

【0013】図3は編集システム1aの構成を示している。編集システム1aはCPU1-1とハードディスク1-2などにより構成され、音楽コンテンツとその試聴再生制御情報（以下、簡単に試聴制御情報という）が別々に入力されると、試聴制御情報を含む音楽コンテンツのストリームデータを構成してプレーヤ10にダウンロードする。試聴制御情報は図4に示すヘッダ内に配置される。

【0014】ヘッダは例えば、

- ・ヘッダ情報と、
- ・コンテンツIDと、
- ・コンテンツタイトルと、
- ・試聴を許可する国を示す国識別コードと、
- ・制作会社名と、
- ・各曲毎の試聴条件（試聴期日、試聴期間、試聴回数、試聴時間、複合条件など）と、
- ・各曲毎の曲名と、
- ・各曲毎の演奏時間（時、分、秒、フレーム数）と、
- ・コンテンツ復号鍵保存領域

の各データにより構成されている。なお、コンテンツ復号鍵保存領域データは、図2に示す暗号化/復号部15が暗号化コンテンツを復号するために用いられる。

【0015】各曲毎の試聴条件データは図5に詳しく示すように、

- ・4ビットの試聴条件と、
- ・11ビット（年）+5ビット（月）+5ビット（日）=21ビットの試聴期日と、
- ・5ビットの試聴期間（日数）と、
- ・レート（比特/秒）と、
- ・音楽曲の曲名

6

ットデータが「1」の場合に「試聴可」を表し、さらに例えば

- 1000：試聴期日の指定のみ
- 0100：試聴期間の指定のみ
- 0010：試聴回数の指定のみ
- 0001：試聴時間の指定のみ

を表す。

【0017】また、2以上の許可条件を表すことができ、例えば4ビットの試聴条件データが「0011」の場合には、「試聴回数」と「試聴時間」の複合指定を表す。なお、図6は一例として、試聴回数と累積試聴時間の複合指定であって試聴回数=5回、累積試聴時間=600秒が指定されている場合を示している。

【0018】図7～図9はプレーヤ10（又はPC5）の試聴再生処理を示している。図7においてまず、ヘッダ内の国識別コードとメモリ13内の国識別コードが一致するか否かを判定し、一致する場合にはヘッダ内に試聴条件データ=0000か否かを判断することにより「試聴可」か又は「試聴不可」を判定する（ステップS1）。そして、国識別コードが一致しない場合、又は「試聴不可」の場合にはその曲の試聴不可処理を行って試聴再生を行わず（ステップS2）。他方、「試聴可」の場合には日付管理機能（日付管理部21）、時間累積機能（残り試聴時間計算部23）、回数計数機能（残り試聴回数計数部22）を有するか否かを判断する（ステップS3）。

【0019】そして、いずれの機能も有しない場合には1回のみ試聴再生を許可し、また、試聴再生が終了した後に試聴条件データ=0000にセットして2回目以降の試聴再生を禁止する（ステップS4）。他方、日付管理機能を有する場合にはステップS5に進み、時間累積機能を有する場合にはステップS6に進み、回数計数機能を有する場合にはステップS7に進む。また、時間と回数の複合指定がある場合にはステップS8（S6、S7）に進む。ステップS5では「試聴期日の指定有り」か又は「試聴期間の指定有り」に応じてそれぞれステップS9、S10に進む。

【0020】図8は「試聴可能な残り時間」の算出処理を示している。ステップS9において「試聴期日の指定有り」の場合には、ステップS11において、試聴可能な残り時間=24H*試聴期日までの残り日数を演算し、次いでステップS18に進む。他方、ステップS9において「試聴期日の指定有り」でない場合には試聴可能な残り時間を演算しないでこの処理を終了する

(5)

特開2001-282258

7
は試験可能な残り時間を演算しないでこの処理を終了する（ステップS14）。

【0021】また、ステップS7において「試験回数の指定有り」の場合には、ステップS15において、
試験可能な残り時間 = 残り試験回数 × 曲の演奏時間（3
分で一定）

を演算し、次いでステップS18に進む。他方、ステッ
プS7において「試験回数の指定有り」でない場合には
試験可能な残り時間を演算しないでこの処理を終了する
（ステップS16）。また、ステップS6において「系
統時間の指定有り」の場合にはそのままステップS18
に進み、他方、「系統時間の指定有り」でない場合には
そのままこの処理を終了する（ステップS17）。ステッ
プS18及び続くステップS19では、上記のよう
に演算した「試験可能な残り時間」の内、最長時間を選
択して「試験可能な残り時間」を決定する。なお、「最
長時間」の代わりに「最短時間」又は「ヘッダ内に別に
指定した時間（不図示）」を選択して「試験可能な残り
時間」を決定するようにしてもよい。

【0022】図9は試験再生が終了した後の残り試験時
間（試験可能な残り時間）の算出のための処理を示して
いる。図9において、「試験可能な残り時間」の算出
は、「試験期日の指定有り」と「試験期間の指定有り」
の場合には行わない（ステップS21、S22）。これ
に対し、「試験回数の指定有り」の場合には、規定時間
(例えば5秒)以上の試験を行った場合にはヘッダ内の
試験回数データを1つ減らし（ステップS23→S2
4）。他方、規定時間以上の試験を行わなかった場合に
はヘッダ内の試験回数データはそのままとする（ステッ
プS23→S25）。また、「試験時間の指定有り」の
場合には、

試験可能な残り時間 = これまでの残り試験時間 - 今回の
試験時間

を算出してヘッダ内の試験時間データとしてセットする
（ステップS26）。

【0023】なお、上記実施形態において試験再生を許
可する場合には、音質を劣化させて再生するようにして
もよい（図7のステップS31）。この場合には、例え
ば4ビットの試験条件データを5ビットにして、追加し
た1ビットが「1」の場合には「音質劣化有り」。

「0」の場合には「音質劣化無し」を表すようとする。
また、プレーヤー10側では「音質劣化有り」の場合には
例えば音楽コンテンツのPCMデータの下位数ビットを
オールゼロにしてアナログ信号に変換して再生すること

10

8

要求に対応することができないことがある。例えば指定
した試験期日や試験期間の範囲で何回も、何秒も無制限
に試験を許可するのではなく、試験回数や試験時間をさ
らに指定して、この指定した試験回数や試験時間を超え
たら試験期日以前や試験期間以前であっても試験を禁止
したいことが考えられる。そこで、この第2の実施形態
では、「複合指定」により試験再生を許可する場合に、
各自の著作権者の要求に対応可能なように優先順位を指
定して試験再生を許可する。

【0025】図10は第2の実施形態における各曲毎の
試験条件データを示し、この試験条件データは

- ・4ビット(bit)の試験条件と、
- ・4ビットの優先順位、及び11ビット(年:yyyy) +
5ビット(月:mm) + 5ビット(日:dd) = 21ビット
の試験期日を含む試験期日データと、
- ・4ビットの優先順位、及び5ビットの試験期間(日
数)を含む試験期間データと、
- ・4ビットの優先順位、及び4ビットの試験回数(残り
試験回数)を含む試験回数データと、
- ・4ビットの優先順位、及び16ビットの試験時間(残
り試験時間(秒))を含む試験時間データにより構成され、
優先順位以外の他のデータは第1の実施形態(図
5、図6参照)と同じである。

【0026】上記の試験期日、試験期間(日数)、試験
回数(残り試験回数)、残り試験時間(秒)毎に設けら
れている優先順位は、複合指定で試験を許可した場合の
優先順位を示している。図11はこの指定データに基づ
くプレーヤー10の試験再生処理を示し、指定された試験
再生方法の優先順位を比較し(ステップS41)、この
優先順位に基づいて残り時間を決定する(ステップS4
2)。

【0027】図11は一例として、試験条件データ = 0
011、すなわち「試験回数」と「試験時間」の複合指
定であって、試験回数 = 5回、試験時間 = 600秒が指
定され、さらに試験回数の優先順位 = 1、試験時間の優
先順位 = 2が指定されている場合を示している。この場
合には、優先順位 = 1の試験回数 = 5回、優先順位 = 2
の試験時間 = 600秒であるので、試験回数 = 5回を超
えると、試験再生した時間が600秒未満であっても試
験条件データ = 0000にセットして以降の試験再生を
禁止する。

【0028】また、他の処理例として、試験期日及び試
験期間のいずれかと試験回数及び試験時間のいずれかを
複合指定して試験期日(又は試験期間)の優先順位 =
1、試験回数(又は試験時間)の優先順位 = 2

(5)

特開2001-282258

9

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、転送元端末からプレーヤに対し、コンテンツの試聴再生を許可するか又は禁止するかを示す試聴再生制御情報を通知して、試聴再生を許可又は禁止するようにしました。試聴再生を許可する場合には試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間を通知してこの範囲で試聴再生を許可するようにしたので、著作権者側の試聴許可条件に対応することができる。さらに試聴許可時間、試聴許可回数、試聴可能期日、試聴可能期間のいずれか2以上の試聴再生条件の組み合わせとその優先順位を通知した場合に、優先順位の高い試聴再生条件の試聴再生が終了した後には優先順位の低い試聴再生条件の試聴再生を禁止するようにしたので、著作権者側の試聴許可条件に対応することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るネットワーク配布システムの一実施形態を示す構成図である。

【図2】図1のプレーヤの構成を詳しく示すブロック図である。

【図3】図1の編集システムの構成を詳しく示すブロック図である。

* 【図4】ヘッダの構成を示す説明図である。

【図5】図4の試聴条件データを詳しく示す説明図である。

【図6】図5の試聴条件データの一例を示す説明図である。

【図7】試聴再生制御処理を示すフローチャートである。

【図8】試聴再生制御処理を示すフローチャートである。

10 【図9】試聴再生制御処理を示すフローチャートである。

【図10】第2の実施形態の試聴条件データを詳しく示す説明図である。

【図11】第2の実施形態の試聴再生制御処理を示すフローチャートである。

【図12】図10の試聴条件データの一例を示す説明図である。

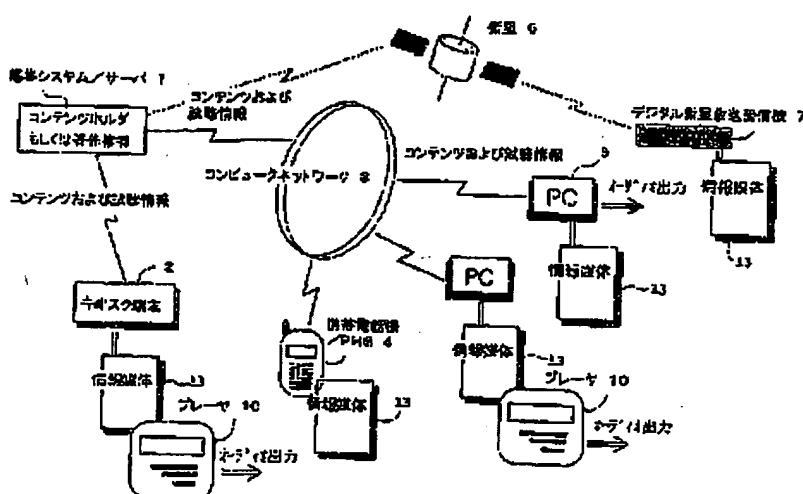
【符号の説明】

1 編集システム／サーバ(転送元端末)

10 プレーヤ

*

【図1】



【図6】

【図10】

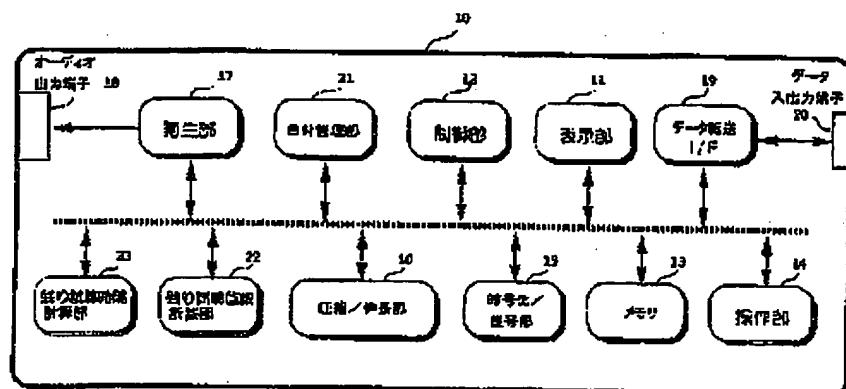
項目	データ	データフォーム	データ名	更新に関するエラフ
試聴条件	0011		登山の風景	

項目	優先順位	データ	データ名	データ長	更新に関するエラフ

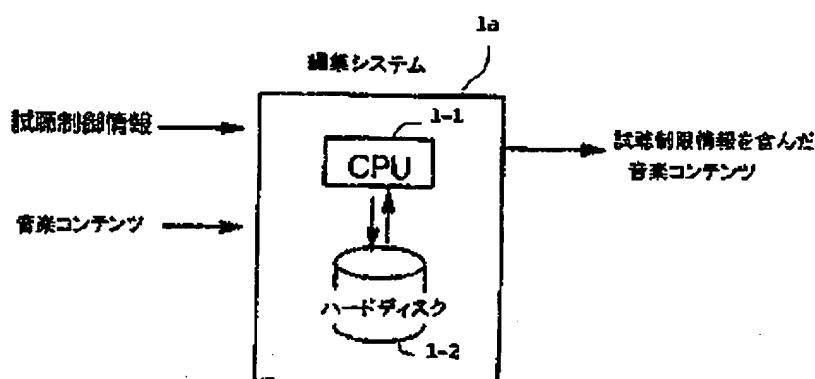
(7)

特開2001-282258

【図2】



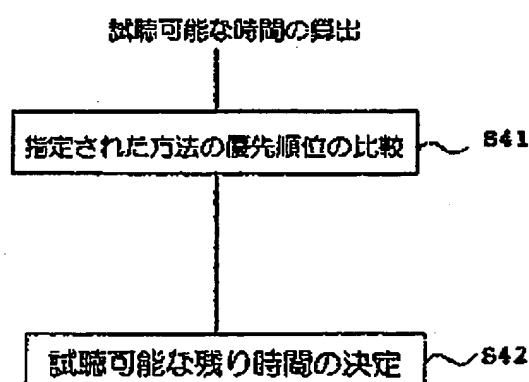
【図3】



【図4】

ヘッダ情報
コンテンツID
コンテンツタイトル
国際コード
著作会社名
一曲目 試験条件 (試験項目, 試験時間, 試験回数, 試験時間, 試験条件など)
二曲目 試験条件 (試験項目, 試験時間, 試験回数, 試験時間, 試験条件など)
⋮
一曲目 曲名
二曲目 曲名

【図11】



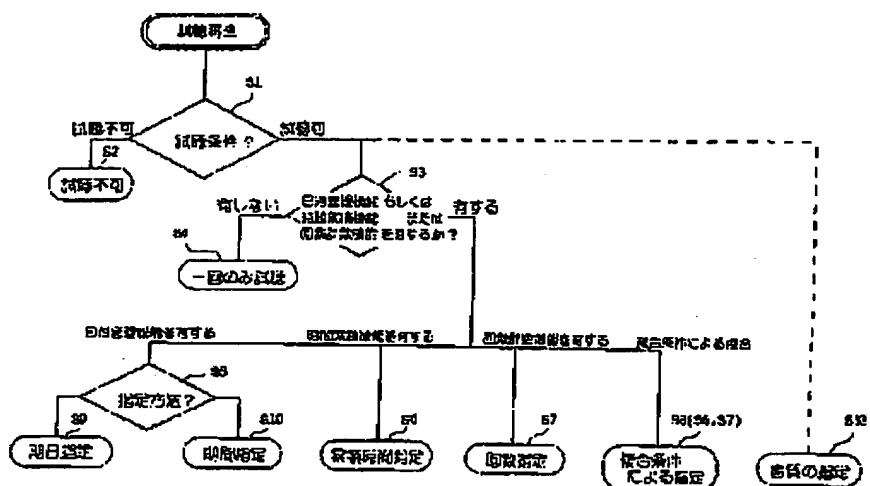
(8)

特開2001-282258

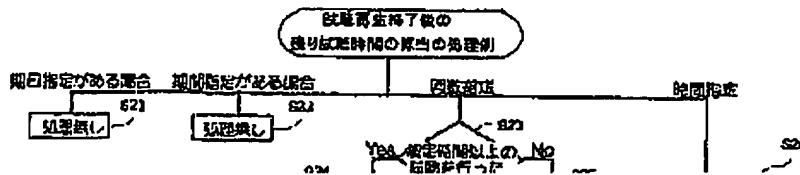
【図5】

項目	データ	データフォーム	データ量	更新に関するエリア
試験条件	XXXX		4 bit の長さ	
期日	date	yyyy / mm / dd /	yyyy : 11 bit, mm : 5 bit, dd : 5 bit	
期間	days	dd (単位は日)	5 bit の長さ	
回数	itcr.	整数	4 bit の長さ	残り試験回数
試験時間	time	単位は秒	16 bit の長さ	残り試験時間

【図7】



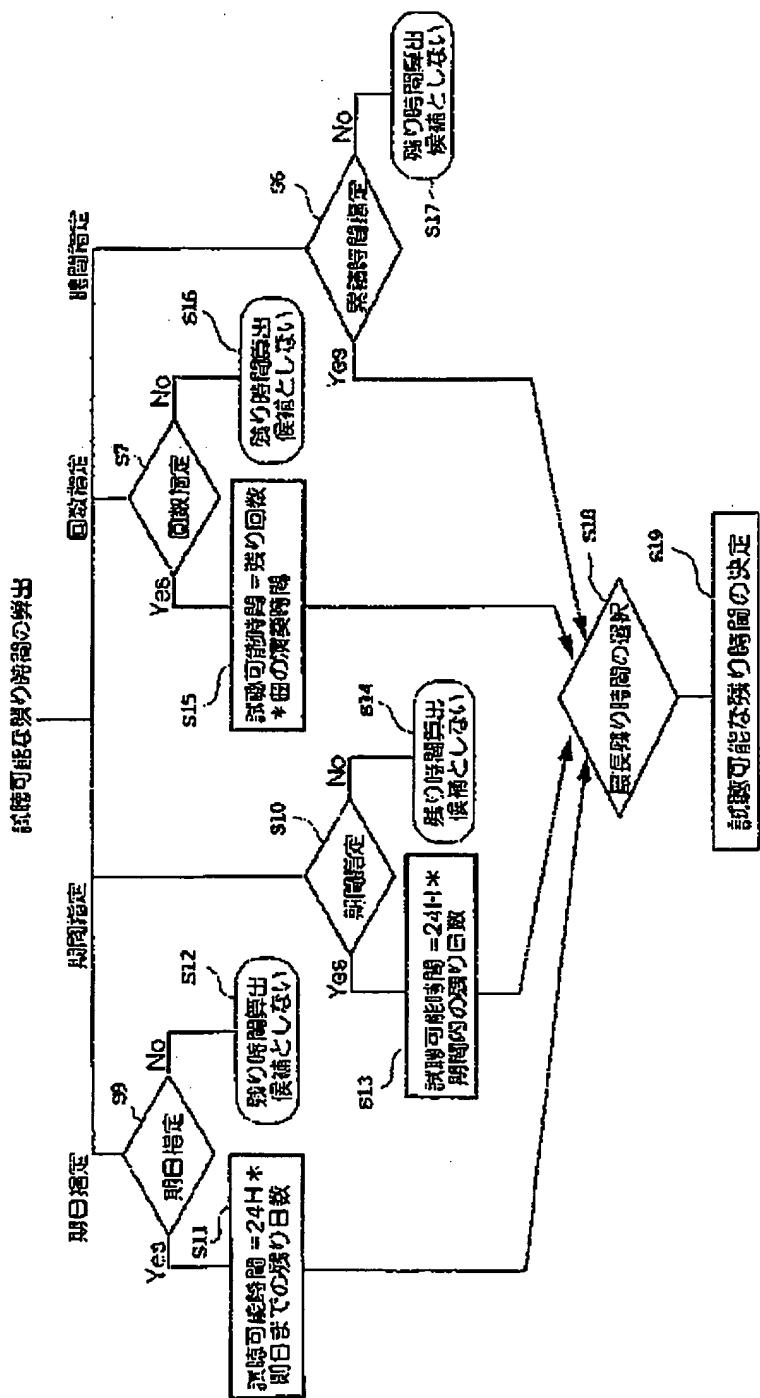
【図9】



(9)

特開2001-282258

[圖 8]



(10)

特開2001-282258

【図12】

項目	標準 値	データ タイプ	データ 長	既定に選択する ESP
試験条件	0011		4ビットの長さ	
用日	--	yyyy: mm: dd/	yyyy:11 00:00:00 dd:3100	
結果	--	dd (実験結果)	5ビットの長さ	
回答	1	0: 既定	4ビットの長さ	既りは既定
実験結果	2	600	既定のみ	16ビットの長さ

フロントページの続き

(72)発明者 佐藤 康夫
 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番
 地 日本ピクター株式会社内

F ターム(参考) 5B017 AA07 BB03 BB10 CA16
 5D044 AB02 AB05 DE22 EF05 FG18
 GK12 HL08